

相馬郡在宅医療・介護連携支援センター

まるっと

相馬郡在宅医療・介護連携支援センター

コーディネーター 看護師

栗田 浩子



設立までの経過 その1 ～医師会

◆第1回 準備会 令和5年3月16日

- 在宅医療・介護に関連者への連絡
- 準備委員の決定
- 県医師会への連絡

◆第2回 準備会 令和5年4月7日

- 県医師会と今後の進め方についてwebミーティング
- 委員について担当者を決定し、各所属に了承を得る
- 準備委員会委員として、承諾書・連絡先の提出頂く

設立までの経過 その2

～準備委員会 及び 行政との打ち合わせ

◇第1回 センター設置準備委員会 R5.6.2

- 設置準備委員会発足
- 福島県在宅医療・介護連携支援センター概等一県医師会
- センター設立の進め方一県医師会・郡医師会

◇第2回 設置準備委員会 R5.7.21

- 福島県「在宅医療・介護連携推進事業」一県保健福祉部
- 4市町村からの状況報告
- コーディネーター選定について

◇第3回 センター設置準備委員会 R5.8.25

- 「福島市在宅医療・介護連携支援センターに勤務して
思うこと、感じること」～行政経験者として～
福島市在宅医療・介護連携支援センター
主任 須田 美也子 様

◇第4回 センター設置準備委員会 R5.11.10

- 令和5年度支援事業
都道府県・市町村担当者研修会議の報告
- センター設置準備の進捗状況

◇第5回 センター設置準備委員会 R6.3.19

- センター設置準備の進捗状況
- 医師会職員紹介
- 相馬郡医師会在宅医療介護連携準備委

◇行政との打ち合わせ

- 令和5年10月23日
- 令和5年11月13日



セレモニー・開所式 令和6年4月20（土）

◇テープカット式・看板掲示—医師会館

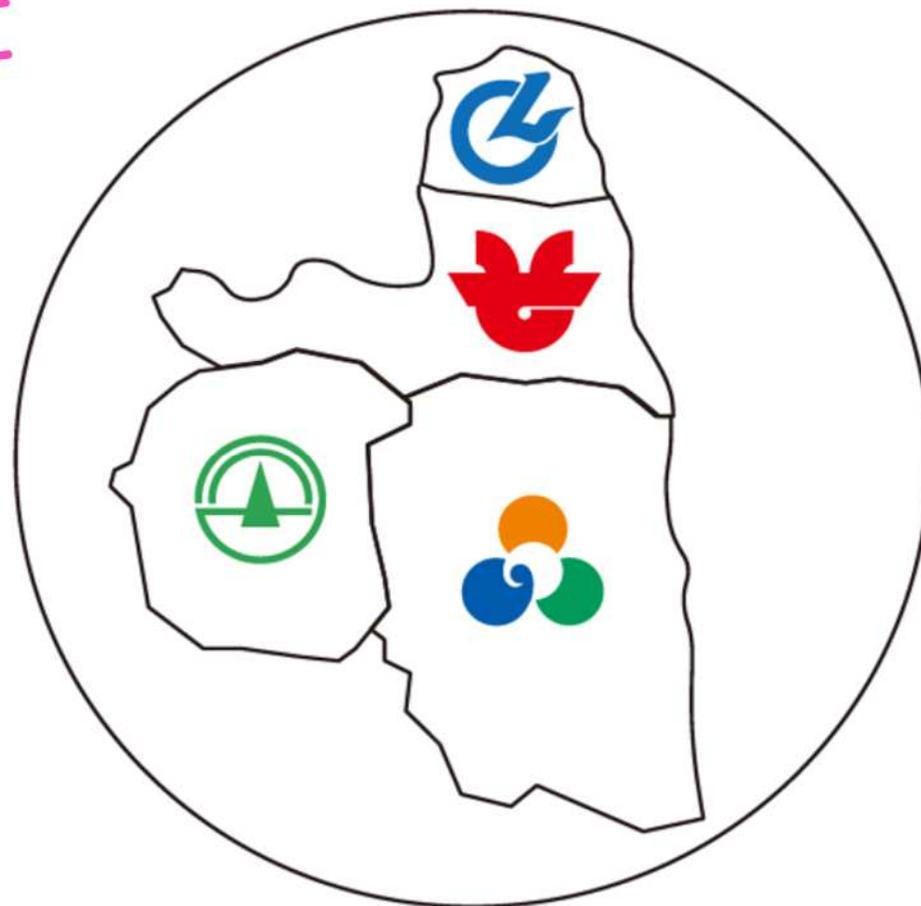
◇開所式—道の駅南相馬



◇当日取材○福島民報 ○福島民友 ◇後日取材○朝日新聞社福島県版 ○シルバー産業新聞社

ロゴマーク まるっと

- ◇まるごとが転訛した言葉
- ◇相馬地域4市町村を一円
- ◇在宅医療・介護連携を
広域的に支援



運営委員会 ～準備委員会から移行 構成員

- 医師会長 • 医師会理事 • クリニック医師 • 病院医師
- 歯科医師会長 • 薬剤師師会長 • 県保健福祉事務所
- 病院看護部長 • 地域医療連携室担当者
- 訪問看護ステーション代表 • 県理学療法士会代表
- 県作業療法士会代表 • 県管理栄養士会代表 • 精神保健福祉士
- 地域包括支援センター代表 • 介護支援専門員代表
- 介護保険事業者連絡会代表 • 施設代表
- 4市町村担当者 • 事務局

総数38名

第1回 運営委員会 R6.4.26

○在宅医療・介護連携支援センターの役割・業務について再確認

○各職種アンケート内容確認 ○事業所一覧確認

◇4/30～実働開始

第2回 運営委員会 R6.7.5

○アンケート調査・結果まとめ報告 4/30～6/28まで総計237件訪問

○主治医・ケアマネジャー等連絡票 相馬郡標準様式の活用 7/8使用開始

○講演会開催について

○「第1回そうま褥瘡ケアネットワーク」開催報告

○南相馬方部介護保険事業所連絡会設置について

第3回 運営委員会 R6.9.6

○まるっと活動報告 7月～9月

○第1回 まるっと研修会報告

○ ICTツール説明・キビタンケアネットサービス
・グリッティ
・メディカルケアステーション
・IIJ電子@連絡帳サービス

○南相馬方部介護保険事業所連絡会設置について

第4回 運営委員会 R6.12.6

○まるっと活動報告 10月～11月

○地域課題報告と対応

○医療情報の共有

○居宅介護支援専門員へのアンケート結果（相馬市）

○南相馬市介護保険サービス事業者連絡協議会設置

事業所一覧作成 ～地域の医療介護資源把握

◇運営委員会・行政で確認◇

○地域包括支援センター (8)

○居宅介護支援事業所 (39)

○特別養護老人ホーム (9)

○グループホーム (10)

○在宅系施設 (8)

(介護医療院・看護小規模多機能型居宅介護・小規模多機能型居宅介護・
経費老人ホーム・サービス付き高齢者住宅 ロングショート対応・
有料老人ホーム 等)

○介護老人保健施設 (5)

○訪問看護ステーション (10)

計89か所 ◇ホームページ掲載予定

アンケート調査 ～地域の実態把握・課題の検討

- 病院：訪問診療・往診対応・看取り対応の可否・レスパイトと入院対応の可否・病診連携における検討事項
- クリニック（医科・歯科）：訪問診療・往診対応・看取り対応の可否・研修会開催支援・現状課題
- 保険薬局：薬剤管理指導・麻薬の取扱い・担当者会議出席の可否・研修会開催支援・現状課題
- 地域包括支援センター：65歳以上の総合支援窓口業務の内容と特殊性・看取り対応ケース担当の可否・現状課題・職員に向けての希望研修
- 居宅介護支援事業所：看取り対応ケース担当の可否（緊急時も含む）・現状課題・職員に向けての希望研修
- 施設関係：緊急入所の可否・看取り対応の可否・対応可能な医療処置・現状課題・職員に向けての希望研修
- 訪問看護ステーション：緊急訪問対応（365日24時間）在宅看取り対応の可否・対応可能な医療処置・現状課題・職員に向けての希望研修
- 介護支援専門員に今後について調査 R6.12 南相馬市・新地町・飯舘村（相馬市はg行政で施行）

各職種の現状より ～地域課題抽出

- クリニック（医科・歯科）：震災以前より訪問診療・往診・看取り対応医師の減少
- 保険薬局：薬剤師不足にて居宅管理指導困難な薬局がある 皆無の地域あり
- 地域包括支援センター：精神疾患を有する認知症発症者の対応
- ケアマネジャー：高齢化・主任ケアマネジャー更新不能・人材育成・
身元引受人不在の利用者対応について・クリニックとの連絡の方法
- 訪問看護ステーション：人材不足で余裕がなく研修を受講させられない
要支援者のリハビリ提供について
- 施設：医療従事者がいない施設での感染対策方法
職員のリスクマネジメント能力について
- 同職種間での情報共有・交換会・交流会がない→顔の見える関係性の構築

医療・介護関係者の情報共有支援

◇多職種ネットワーク推進

○地域包括ケア推進会議（各市町村）

○相双医療圏退院調整ルール運用評価会議

○地域介護保険サービス事業者に対してセンターの役割・

業務内容について講和（・南相馬市－9月 相馬市－10月）

◇介護保険サービス事業者に対しての連絡網の整備

○相馬市・新地町－既存の団体に依頼

R6.10 ○南相馬市－連絡協議会発足

○飯舘村－訪問看護ST代表者に依頼

相談支援

～医師会館事務局に相談窓口設置

◇R6.5月－5件

- 地域包括支援センター
- 障がい者施設
- 小規模多機能ホーム
- 近隣がんセンター
- 地域住民

◇R6.6月－3件

- クリニック
- 障がい者施設

◇R6.7月－4件

- 地域包括支援センター
- 隣県大学病院
- クリニック
- 行政

◇R6.8月－2件

- 地域包括支援センター
- 病院

◇R6.9月－7件

- クリニック
- 地域包括支援センター
- 訪問看護ステーション
- GH

◇R6.10月－5件

- 隣県大学病院
- 病院
- 地域包括支援センター
- 居宅

◇R6.11月－3件

- 地域包括支援センター
- 居宅

◇R6.12月－2件

- 隣県大学病院
- 居宅

◇R7.1月－2件

- 居宅

相談研修 33件

◇相談内容によっては次の機関に繋ぎ
解決方向へ導く



相馬郡在宅医療・介護連携支援センターだより

◇創刊第1号 令和6年5月
～開所式にあわせて～

- センター長挨拶
- 事業概要
- 職員紹介
- センター設置までの経過



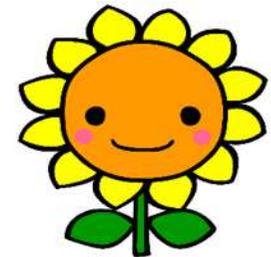
◇第3号 令和7年1月

- まるっと研修
- 相談支援
- 同職種情報交換・交流会
- 地域住民啓もう活動



◇第2号 令和6年8月

- センター取り組み状況
- 医療と介護の連絡シート
- まるっと研修
- 相談支援



○OHP作成

◇第4号 令和7年1月

- ホームページ公開時

ホームページ公開準備中

- 事業所一覧
 - ・地域包括支援センター
 - ・居宅介護支援事業所
 - ・特別養護老人ホーム
 - ・グループホーム
 - ・在宅系施設
 - ・介護老人保健施設
 - ・訪問看護ステーション

- 医師・薬剤師と介護支援専門員等の連携シート

相馬郡標準様式 PDF形式

- お知らせ 研修会等

- 相馬郡在宅・医療連携支援センターだより バックナンバー

地域共通ICTツール検討中

- ◇医療情報の共有について研修開催
 - ・メディカルケアステーション
 - ・キビタン健康ネット

準備中



等

医師・薬剤師と介護支援専門員等の連絡票～相馬郡標準様式

- 目的**
- 医療と介護の間でより活発で効果的な連携推進
 - より良いサービス提供構築の一助

- 内容**
- ◇医療系サービス利用時の指示や留意点・医師意見等
 - ◇総合事業対象にも活用
 - ◇軽度者の福祉用具貸与について
 - ◇通所介護・短気入所療養介護利用時の医師指示
 - ◇医師・薬剤師の見解をケアプランに反映

◇相馬郡標準様式はHPにPDFを掲載し ダウンロードして活用できるようにする

地域住民への普及活動

○地域行事に積極的に参加 健康相談等を実施

ー令和6年度 950名対応 人生ノート携帯版配付

○ 4市町村・行政にタイムリーにセッティングして頂く

◆草の根活動的に！！！！

- ◆講和内容
- ・在宅療養・介護について
 - ・生活習慣病について
 - ・ACP 意思決定支援について
 - ・人生ノート エンディングノートについて 等々

研修支援

- R6.6.19 第1回そうま在宅褥瘡ケアネットワーク 共催
- R6.8.27 第7回相双ホームケアネットワークin鹿島 共催
- R6.8.28 第1回まるっと研修会「今さら聞けない?! 医療・介護現場の感染対策」
- R6.8.29 いいたてホーム集合研修 研修会開催支援
- R6.9.11 第4回ケアマネカフェ 出席講話
- R6.9.26 認知症診断 共催
- R6.10.18 権利擁護研修 後援
- R6.10.24 相馬方部介護保険事業者連絡会令和6年度定例会 出席講話
- R6.11.13 飯舘村老人クラブ連合会交流会 出席講話
- R6.11.15 令和6年度相双圏域認知症疾患医療連携協議会 出席講話
- R6.11.20 第2回そうま在宅褥瘡ケアネットワーク 共催
- R7.2.7 第2回まるっと研修会「認知症対応について」
- R7.2.26 第8回相双ホームケアネットワークin鹿島 共催

第1回同職種情報交換・交流会—病院地域医療連携室・相談室

◆令和6年12月5日（金）開催

○レスパイト入院対応について

○訪問診療について

○病院訪問看護の運用状況について

○主治医意見書作成について

○紹介・逆紹介について

○転院時の持ち込み処方について

○主治医・薬剤師と介護支援専門員等の連絡票について

○相双医療圏退院調整ルールについて

○退院支援困難事例の紹介・検討

次回：令和7年 5月中～下旬予定

第2回情報交換・交流会—訪問看護ステーション

◆令和7年2月27日（木）開催予定

今後・・・

●震災後、「2040年問題が前倒し」とされた
地域における各職種の人員不足

▶ 広域的多職種連携パワーの活用

ご清聴ありがとうございました。

